



市議会から

こんにちは

NO.82

令和8年
4月25日 発行

(2月臨時会)
(2月定例会)



菜の花畑を走るスカイツリートレイン

(今市工業高校 写真・美術部さんの作品)

倉ヶ崎SL花畑では季節の花々と電車の写真を撮ることができます。冬にはイルミネーションも行われるなど年間を通して楽しむことができるおすすめの撮影スポットです。撮影日も多くの方がカメラを手に訪れていました。皆さんも季節と電車の組み合わせを楽しんでみませんか。

おもな内容

議会報告会（各団体）	2
2月臨時会で審議した議案と結果	3
2月定例会で審議した議案と結果	4
代表質問	6
一般質問・付託委員会の審査報告	8
令和8年度当初予算審査	10
委員会活動報告	12
議会報告会（中学生）	14
議会のおもな動き・編集後記	16

各団体との 議会報告会を実施しました

令和7年度は、各常任委員会を単位として、議会報告会を実施しました。総務班、民生教育班、観光産業班が、それぞれ市内の各団体の皆様と実施した議会報告会についてお知らせします。また、中学生との議会報告会につきましては、本号の14～15ページと前号（No.81）に掲載していますので、併せてご覧ください。

● 総務班

総務班では、日光市消防団連合会と議会報告会を開催し、議会報告と、消防団再編に関する考え方、各消防団の課題について意見交換を行いました。

現在、今市・日光・藤原・栗山地域に消防団がありますが、令和9年度に新たな消防団として統合再編となる予定です。今後、統合することで一体となり、連携を強化することで、地域防災力の向上ならびに組織の維持を図っていきたいとのことでした。また、統合のメリットがある一方で、消防団の団員の減少や負担軽減策の検討など多くの課題があるため、今後検討・調整を十分図っていくとのことでありました。

地域住民の生命と財産を守るために日々努力されている消防団との連携は継続・強化していくべきであり、火災や自然災害は行政と消防団等の関係機関だけでは防災活動が十分に行えないことから、官民一体となって地域防災を支えていけるような方策等について今後も議論していくべきであると捉えています。（川島憲朗副班長）



日光市消防団連合会との意見交換の様子

● 民生教育班

民生教育班では、11月4日（火）に日光市役所本庁舎委員会室において民生・児童委員の執行役員12名の皆様と議会報告会を開催し、議会報告と、「民生・児童委員が感じる現状と課題について」を議題とし、主に「高齢者の問題について」「子ども家庭の問題について」「生活困窮者支援について」の3つのテーマについて意見交換会を行いました。

意見交換の中で、私たちが想定していた諸問題のほかに、現場で実際に困っている方たちと触れ合い経験することでしか分からない問題もたくさんあり、私たちも大変勉強になった有意義な意見交換会でした。

民生・児童委員の皆様の苦労は計り知れないものであり、さまざまな問題を抱えていることが分かりました。今後は、私たち議員各自が意見交換会で出された問題のひとつひとつを精査し、問題意識をもって、これからの議員活動において、委員会や一般質問、執行部との会話の中で取り上げることで、これらの問題を解決していくことが重要だと思いました。（亀井崇幸班長）



日光市民生・児童委員との意見交換の様子

● 観光産業班

観光産業班では、1月20日（火）に鬼怒川温泉駅前再整備検討市民委員会委員の皆様と意見交換を行いました。

初めに議会活動報告を行い、その後「地域の皆さんが元気に明るく楽しく過ごせるまちについて」「地域のみなさんが歩きたくなるようなまちについて」のテーマで様々な意見が交わされました。

鬼怒川温泉駅前の環境は、市が実施した市有財産ポテンシャル調査の結果は低い評価でしたが、公共施設、イベント広場などが集約されている魅力ある場所であり、鬼怒川温泉駅前再整備事業も形が見えるところまで来ています。方向性が示された中、50年後を見据えた期待の持てる整備を強く望む意見を伺いました。

また、市では廃ホテル問題の対策のため、協議会が組織されたところですが、地域の方にとっても廃ホテル問題が課題の筆頭にあるとのことでした。元気に明るく過ごせるまちになるためにも、廃ホテル問題は市全体の課題と捉えて前進するという認識を共有しました。（生井一郎副班長）



鬼怒川温泉駅前再整備検討市民委員会との意見交換の様子

令和8年2月臨時会で審議した議案と結果

令和8年2月臨時会を2月5日に開催しました。審議した案件は、報告1件、執行部提出議案10件でした。

第議案	第議案	第議案	第議案	第議案	第議案	第議案	第報告	事件名	議決結果
7号案	6号案	5号案	4号案	3号案	2号案	1号案	1号告		
令和7年度会計補正予算(第2号)について	令和7年度(2025年度)特別会計補正予算(第2号)について	令和7年度(2025年度)(第6号)について	日光市一般職の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	日光市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例及び日光市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	日光市議会議員の報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長の専決処分事項の承認について「令和7年度(2025年度)日光市一般会計補正予算(第5号)」	市長の専決処分事項の報告について「損害賠償の額の決定及び和解」	報告	議決結果
原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案承認	報告		

令和8年2月臨時会の議員別賛否一覧

○…賛成 ●…反対
(賛否等が分かれたもののみ掲載)

事件	議案第2号	議案第3号
日光市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例及び日光市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	日光市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	日光市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例及び日光市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について
採決結果	可決	可決
可：否	20：1	20：1
川村 寿利	○	○
田村 耕作	○	○
福田 悦子	●	●
齊藤 正三	○	○
山越享太郎	○	○
筒井 巖	○	○
村上 正明	○	○
高見 尚希	○	○
荒川 礼子	○	○
斎藤 久幸	○	○
和田 公伸	○	○
川島 憲朗	○	○
斎藤 伸幸	○	○
青田 兆史	○	○
山越 梯一	○	○
生井 一郎	○	○
齋藤 文明	議長のため採決には加わらない	
亀井 崇幸	○	○
嶋田 正法	○	○
大島 浩	○	○
斎藤 宏明	○	○
三好 國章	○	○

予算審査特別委員会

予算審査特別委員会において、令和7年度(2025年度)日光市一般会計補正予算(第6号)について審議し、原案どおり可決しました。

～ 一般会計補正予算(第6号)の概要 ～

歳入歳出予算の総額それぞれ6億9,600万円を追加し、予算総額を489億7,100万円とするもの。

≪主な事業≫

- 物価高騰対策生活者支援事業費(420,000千円)
物価高騰対策として、商品券支給に要する経費を計上する。

～ 主な質疑と答弁 ～

問…「おこめ券」ではなく、5,000円の商品券の配布とした理由について伺う。

答…早期に全市民に届く事業として商品券の配布とした。このほかに、令和8年度予算において、臨時交付金を活用した市民及び事業者向けの物価高騰対策事業を実施する予定である。

問…商品券の支給日と有効期限を伺う。

答…商品券は4月1日以降できるだけ速やかに郵送などにより配布をする。商品券の始期は、届いた時点ですぐに使用できるように4月1日に、終期は、例年実施しているとく商品券との使用期間が重複しないこと等を考慮して7月31日に設定した。

問…国庫補助金3億8,500万円の歳入を計上しているが、令和8年度も含め全体の歳入予定額を伺う。

答…国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の限度額について、約8億4,000万円の提示を受けている。

第議案	第議案	第議案
10号案	9号案	8号案
令和7年度(2025年度)正予算(第2号)について	令和7年度(2025年度)会計補正予算(第1号)について	令和7年度(2025年度)計補正予算(第2号)について
日光市下水道事業会計補	日光市銅山観光事業特別	日光市診療所事業特別
原案可決	原案可決	原案可決

令和8年2月定例会で審議した議案と結果

令和8年2月定例会を2月12日から3月24日まで、41日間の会期で開催しました。審議した案件は、議員議案2件、執行部提出議案44件でした。なお、一般質問は3月4日に、5名の議員が11項目について行いました。

議員議案 第1号	議決結果	事件名
第25号案	原案可決	日光市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
第24号案	原案可決	日光市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について
第23号案	原案可決	日光市立足尾診療所条例の制定について
第22号案	原案可決	日光市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
第21号案	原案同意	教育委員会の委員の任命につき議会の同意を求めることについて
第20号案	原案可決	令和8年度(2026年度)日光市下水道事業会計予算について
第19号案	原案可決	令和8年度(2026年度)日光市水道事業会計予算について
第18号案	原案可決	令和8年度(2026年度)日光市公共用地先行取得事業特別会計予算について
第17号案	原案可決	令和8年度(2026年度)日光市銅山観光事業特別会計予算について
第16号案	原案可決	令和8年度(2026年度)日光市温泉事業特別会計予算について
第15号案	原案可決	令和8年度(2026年度)日光市診療所事業特別会計予算について
第14号案	原案可決	令和8年度(2026年度)日光市介護保険事業特別会計別会計予算について
第13号案	原案可決	令和8年度(2026年度)日光市後期高齢者医療事業特別会計予算について
第12号案	原案可決	令和8年度(2026年度)日光市国民健康保険事業特別会計予算について
第11号案	原案可決	令和8年度(2026年度)日光市一般会計予算について

第26号案	原案可決	日光市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
第27号案	原案可決	日光市立湯西川診療所条例の一部を改正する条例の制定について
第28号案	原案可決	日光市集会所条例の一部を改正する条例の制定について
第29号案	原案可決	日光市消費生活センター条例の一部を改正する条例の制定について
第30号案	原案可決	日光市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
第31号案	原案可決	日光市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について
第32号案	原案可決	日光市長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第33号案	原案可決	日光市新型コロナウイルス感染症対策応援基金条例の一部を改正する条例の制定について
第34号案	原案可決	日光市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例及び日光市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について
第35号案	原案可決	日光市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
第36号案	原案可決	日光市休養施設条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について
第37号案	原案可決	日光市自然体験交流センター条例を廃止する条例の制定について
第38号案	原案可決	財産の無償譲渡について 〔旧原町みどり保育園建物〕
第39号案	原案可決	財産の無償貸付について 〔旧原町みどり保育園敷地〕
第40号案	原案可決	損害賠償の額の決定及び和解について
第41号案	原案可決	損害賠償の額の決定及び和解について
第42号案	原案可決	市道路線の認定について 〔丸見川3号線〕
第43号案	原案可決	第3次日光市総合計画(基本構想)の策定について
第44号案	原案可決	第3次日光市総合計画(前期基本計画)の策定について
第45号案	原案可決	第2期日光市過疎地域持続的発展計画の策定について

令和8年2月定例会の議員別賛否一覧

○…賛成 ●…反対 —…欠席等
(賛否等が分かれたもののみ掲載)

事件	議案第11号	議案第12号	議案第13号	議案第14号	議案第22号	議案第35号
	令和8年度(2026年度)日光市一般会計予算について	令和8年度(2026年度)日光市国民健康保険事業特別会計予算について	令和8年度(2026年度)日光市後期高齢者医療事業特別会計予算について	令和8年度(2026年度)日光市介護保険事業特別会計予算について	日光市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	日光市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
採決結果	可決	可決	可決	可決	可決	可決
可：否	19：1	19：1	19：1	19：1	20：1	20：1
川村 寿利	○	○	○	○	○	○
田村 耕作	○	○	○	○	○	○
福田 悦子	●	●	●	●	●	●
齊藤 正三	○	○	○	○	○	○
山越享太郎	○	○	○	○	○	○
筒井 巖	○	○	○	○	○	○
村上 正明	○	○	○	○	○	○
高見 尚希	○	○	○	○	○	○
荒川 礼子	○	○	○	○	○	○
斎藤 久幸	○	○	○	○	○	○
和田 公伸	○	○	○	○	○	○
川島 憲朗	○	○	○	○	○	○
斎藤 伸幸	○	○	○	○	○	○
青田 兆史	○	○	○	○	○	○
山越 梯一	○	○	○	○	○	○
生井 一郎	○	○	○	○	○	○
齋藤 文明	議長のため採決には加わらない					
亀井 崇幸	○	○	○	○	○	○
嶋田 正法	○	○	○	○	○	○
大島 浩	○	○	○	○	○	○
斎藤 宏明	○	○	○	○	○	○
三好 國章	—	—	—	—	○	○

第議員議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号
2	54	53	52	51	50	49	48	47	46
日光市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	日光市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	令和7年度(2025年度)日光市銅山観光事業特別会計補正予算(第2号)について	令和7年度(2025年度)日光市診療所事業特別会計補正予算(第3号)について	令和7年度(2025年度)日光市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について	令和7年度(2025年度)日光市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)について	令和7年度(2025年度)日光市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について	令和7年度(2025年度)日光市一般会計補正予算(第7号)について	〔川俣辺地〕 辺地に係る総合整備計画の変更について	〔上栗山辺地〕 辺地に係る総合整備計画の変更について
原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決

次回(令和8年6月)日光市議会定例会会期日程予定

【会期 5月28日(木)～6月16日(火) 20日間】

月/日	曜日	会期日程	備考
5/18	月		陳情締切(17時)
5/28	木	本会議	開会・上程
6/1	月	本会議	委員会付託
6/3	水	付託委員会	議案等審査
6/4	木	付託委員会	議案等審査
6/5	金	付託委員会	議案等審査
6/8	月	本会議	一般質問
6/11	木	本会議	一般質問
6/12	金	本会議	一般質問予備日
6/16	火	本会議	採決・閉会

※ この予定は変更となる場合がありますので、議会傍聴等は改めて議会事務局にお問い合わせ願います。
問合せ先 0288-21-5140(議会事務局直通)



代 表 質 問

2月24日に4つの会派による代表質問を行いました。
掲載内容は、質問と答弁を要約したものです。すべての質問と答弁は後日作成される会議録でご覧いただけます。また、会派名の下の2次元コードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、代表質問の録画中継を視聴できます。

代表質問について

日光市議会では、2人以上の議員で構成される会派に属する議員が、市長の「施政方針」に対し、その会派を代表して質問を行うことができますこととしています。

代表質問は事前通告制をとっており、会派の構成人数に応じ質問の持ち時間を定めています。

○持ち時間（執行部答弁を含む）

会派構成人数	2人から	3人	20分
	4人から	7人	30分
	8人から	11人	40分



施政方針全文



議員：まちづくりの重点施策における「魅力創出プロジェクト」において、Uターン移住者や関心を基本戦略とした。
議員：まちづくりの重点施策における「魅力創出プロジェクト」において、Uターン移住者や関心を基本戦略とした。

齋藤伸幸議員：市政経営の基本方針について、「Social Wellbeing City」（ソーシャル・ウェルビーイング・シティ）を第3次総合計画の基本戦略とするという点だが、具体的にはどのような日光市を想定しているのか伺う。
瀬高哲雄市長：「ソーシャル・ウェルビーイング・シティとは、第3次日光市総合計画に掲げた将来の都市像「誰もが楽しく、健康やかに暮らす 新しいまち」の姿であり、市民だけでなく、当市に関わる方々が「ここに住んでみたい」「住み続けたい」という憧れと愛情を持つ、可能性と幸福感に満ちた活力ある地域社会を表している。健やかで幸せなまちの姿をソーシャル・ウェルビーイング・シティと捉え、市民とまちづくりの思いを共有することで、しあわせのまちへの変革に挑戦する姿勢を示すものとして、「変わる。が始まる」Social Wellbeing City」を基本戦略とした。



齋藤 伸幸 議員



動画視聴▶

* 光 和

市長：多様化・複雑化する市民ニーズや地域課題に柔軟に対応していくためには、職員が公務員としての幅広い能力だけでなく、専門的な知識や能力を向上させていくことが重要である。そのため、デジタルや女性活躍の分野において地域活性化企業人等の外部人材を任用し、民間のノウハウ等を学ぶ機会を設けている。なお、現在策定を進め

係人口を積極的に呼び込むことや、当市の豊かな自然や住みよい住環境などの魅力を発信するところがあるが、どのような手法で実施するのか伺う。
市長：当市では、近隣の県内他市町への転出者が多いという特徴があるため、これまでの首都圏をターゲットとして展開してきた移住施策に加え、県内、特に生活圏、通勤圏などとして関わりのあるエリアをターゲットに、当市の豊かな自然や住みよい住環境などの魅力を発信していく。さらに、県内移住者やUターン移住者への加算などを盛り込んだ新たな支援金制度を創設するなど受入れを強化し、「選ばれたまち」となるよう取り組んでいく。

青田兆史議員：健幸増進プロジェクトについて、こどもと保護者が気軽に利用できる遊び場づくりの検討を進めるほか、こどもが自然に親しみ学びを得る体験を提供し、また、それをけん引する青少年リーダーを育成すること、こどもの健やかな成長につながるのとことだが、どのような遊び場を想定しているか。また、青少年リーダーはどのような方を想定しているか伺う。
瀬高哲雄市長：遊び場としては、令和7年度に策定することは、計画に沿って、屋内外を問わず、こどもや保護者が、誰でも気軽に利用できるものを想定しており、具体的な内容は今後検討していく。また、青少年リーダーとは、子ども会活動やボランティア活動などを通じて、主

ている「第3期日光市人材育成基本方針」では、職員の専門性を高めるための方策を位置づけていくこととしている。さらに、様々な課題に的確に対応していくためには、個々の能力を組織として結集していくことが不可欠であり、効率的かつ効果的な組織体制の構築に向け、速やかに見直しを図っていく。

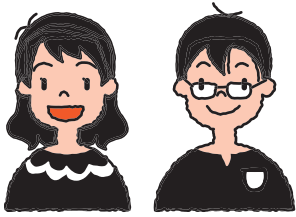


青田 兆史 議員



動画視聴▶

* グループ響



体的に行動しながら地域や様々な団体と積極的に関わり得る将来、地域の担い手となり得る若者である。現在、市内の青少年ボランティア団体に所属する中高生の中には、自然体験事業で年下の子どもたちと活動する学生、イベントの運営補助や清掃活動に参加している学生がおり、こうした若者がリーダーとして活躍できるように支援していく。

議員：行政経営について、今後想定される大規模事業と、長期財政の収支見直しについて伺う。
市長：長期財政の収支見直しについては、平成30年11月に策定し、令和3年10月に改訂した。その後、決算の状況と当時の推計値との間に乖離が生じていることから、その状況を整理し、今後10年間の財政需要を見据えた推計を行った上で、令和7年度末に収支見直しを改定することとしている。大規模事業については、現時点において、高機能消防指令センター設備更新、足尾診療所及び足尾デイサービスセンター整備、鬼怒川温泉駅前再整備、小中学校GIGAスクール用端末更新などを見込んでいく。

* 市民フォーラム志向



村上 正明 議員



動画視聴▶

村上正明議員：「地域づくり」について、市民一人ひとりの主体的な行動と互いを支えあう協力の輪を広げ、地域全体の活力を創出するため、自治会が行うまちづくり活動や、地域まちづくり協議会の互助・共助の取組を積極的に支援するとある。自治会加入者数の減少対策など根本的な支援が求められているが、これからの自治会への積極的な支援の考え方・施策について伺う。

瀬高哲雄市長：自治会において、加入者数の減少や役員の高齢化、担い手不足など様々な課題を抱えていることは、令和7年に9地域・地区を対象に行ったまちづくり懇話会などにおいて、自治会長から直接伺っており、強く認識している。自治会は地域の互助機能を担っており、まちづくりを進める上で重要なパートナーである。市民を対象としたアンケートを実施しており、その結果を含め、様々な意見を総合的に分析した上で、自治会連合会と連携を図りながら、市として必要な支援を積極的に実施していく。
議員：「地域交通」の分野について

て、日光市地域公共交通計画に基づき地域内交通等の構築を目指して、地域の実情に即した移動手段の確保や移動の仕組みづくりの検討を進めるとある。現在、地域内公共交通ではAIデマンドバスを導入するなど改善しているが、交通空白地域の解消に向けた支援や買い物弱者等に対する具体的な考え方について伺う。

市長：広大な市域を持つ本市においては、交通空白地域の解消が課題であり、地域の実情に即した移動手段の確保や仕組みづくりが必要と捉えている。このため、地域で移動手段を確保し運営している「今市南部地区デマンドタクシー」を先行事例とした取組が効果的であることからこうした地域内交通への支援を行っていく。また、地域が運行主体となって運行内容を決定し、ドライバーも地域住民が担う地域共助型生活交通など、新しい交通体系の検討を進めていく。

* 公明党



荒川 礼子 議員



動画視聴▶

荒川礼子議員：令和8年度予算編成の基本的な考え方について、一般会計予算は、前年度比で増額となっている。この増額予算は一時的な措置なのか、今後も

同様の財政規模が続くと見ていくのか。中長期的に、市民サービスを安定的に維持していくための財政運営について、基本的な考え方を伺う。

瀬高哲雄市長：令和8年度一般会計予算案は、487億5千万円と昨年度に引き続き、過去最大規模を更新した。主な要因は、人事院勧告に伴う人件費や、物価高騰などの影響による施設維持管理費の増加、社会保障関連経費の膨張等によるもので、社会情勢や国の福祉政策が変化しない限り、この傾向は続くと思定している。歳入は財源確保に向けたあらゆる可能性を追求していくとともに、歳出は各種計画のもと、物件費や人件費の圧縮、また地方債の抑制など、財政健全化に向け取り組んでいく。また、既存事業の廃止縮小や効率化など、徹底した業務改善を図ることで行財政改革を強力に推し進めていく。

議員：子ども・子育て支援について、こどもの居場所づくりコリデイネーターの配置、不登校児童生徒への個別訪問による学習支援、保護者へのLINE相談等の内容を伺う。
市長：いずれも県内で実績のあるNPO法人等へ委託し、経験や知見のある人材を確保し、対応していく。また、相談体制を強化することで、様々な困難を抱える子どもと保護者の支援をしていく。



一般質問

一般質問とは、市政全般にわたり、事務の執行状況や方針等について議員が市執行部に質問するもので、定例会ごとに行われます。

2月定例会は、3月4日に5名の議員が11項目の質問を行いました。

なお、日光市議会は、広報紙を含めた情報発信のデジタル化を進めていることから、紙面では、質問事項と質問の「ここがポイント」を掲載しています。質問の詳細は録画中継をご覧ください。



議員顔写真下の2次元コードを、スマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、その議員の一般質問がご覧になります。

また、一般質問は会議録でも読むことができます。会議録は、市役所、行政センター、図書館などにあります。

日光市議会 中継

検索

ここがポイント
ミラノ・コレティナオリンピック、女子アイスホッケー代表に2名の市出身者が選出され、活躍されました。懸垂幕だけの応援とせず、もっと大きく市全体で応援できなかつたのかを問いました。4年後の対応に期待したいと思います。



高見 尚希 議員
(市民フォーラム志向)

動画視聴 ▶



- 質問事項
- ① 特色あるスポーツの推進と施設維持管理について
 - ② 高齢者への補聴器購入費助成について



ここがポイント
市内で、高齢者が犠牲となる交通事故が発生しました。事故は夕暮れ時に起きたものや、飲酒が絡むものでした。高齢化が深刻な日光市では、運転手、通行者それぞれに注意することが必要であり、課題がある旨の答弁をいただきました。



大島 浩 議員
(グループ響)

動画視聴 ▶



- 質問事項
- ① 日光市の交通安全対策について
 - ② G7開催後の男女共同参画・女性活躍の取組について



ここがポイント
今回の一般質問では、子育て世代を支える搾乳環境の整備と周知、さらに民間連携の推進を提案しました。また、今市中学校通学道路においての落書き対策や防犯カメラ設置、危険箇所の迅速な修繕体制の強化の必要性も訴えました。



嶋田 正法 議員
(公明党)

動画視聴 ▶



- 質問事項
- ① 安心して搾乳ができる環境づくりについて
 - ② 今市中学校における通学道路の落書き対策と安全確保について





福田 悦子 議員
(日本共産党)



動画視聴▶

- 質問事項
- ① 高齢者が安心して暮らすための環境づくりについて(・エンディングサポート推進・老人クラブ活動支援・高齢者の情報格差対策)
 - ② 廃校施設の活用について
 - ③ ちよこつとスタバケ日光について

ここがポイント

高齢者支援、廃校活用、ちよこつとスタバケについて質問。特に、高齢者が安心して暮らすための環境づくりは、高齢化率の高い当市において重要課題！廃校活用については、市長の見解を質しました。



齊藤 正三 議員
(市民フォーラム志向)



動画視聴▶

- 質問事項
- ① 日光観光大使終了とPR 応援団について
 - ② 公金取扱手数料の有償化について

ここがポイント

- ① 質問 国際観光都市日光で、観光大使によるPR活動は重要。再考を願う！
 - ② 質問 新しい大使の仕組みを検討する。
- 【答弁】推進キャンペーンなど引き続き周知する。



付託委員会の審査報告

令和8年2月定例会では、各常任委員会において、執行部から提出された議案30件の審査を行いました。その中から主な内容、質疑、答弁をお知らせします。

◆総務常任委員会

議案第30号「日光市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について」…「サウナ設備」を「一般サウナ設備」と「簡易サウナ設備」に改正する
問…今回、一般サウナと簡易サウナを分けることになったが、今まで簡

一般質問・付託委員会の審査報告

易サウナについては、一般サウナと同じ括りで、さまざまな縛りがあったということではないのか。また、市内の簡易サウナの現状について伺う。

答…これまでの「サウナ設備」というものの中で、屋外テント及びバルを使用し、熱量が6キロワット以下のものについて、今回、新たに規定するものである。これまでの取扱いと基本的には変わらないが、熱量が小さく、薪及び電気を熱源とする場合には、消火器をすぐ使えるよう、身近に設置しておけばよいことになり、簡易サウナの設置条件が緩和されることになる。また、市内における簡易サウナは、今市署管内に4件、日光署管内に2件、藤原署管内に2件の合計8件である。

◆民生教育常任委員会

議案第22号「日光市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について」

問…こども誰でも通園制度は月10時間の上限があることから、3時間利用で3日間など、細切れの不定期な保育になると想定される。令和6年度の試行的実施の際に、事業に関わった保育士からどのような意見があったのか伺う。また、制度利用に際して、1時間あたりの負担額を伺う。

答…利用対象者が乳幼児であることから、保護者が子どもの発達や特性、全容がつかみにくい健康状態やアレルギーを認識できていない場合があるため、特に利用初めに保育士が神経を使うと聞いている。また、令和8年度からの本格実施においては、1時間あたりの負担額として、保護者負担額300円のほか、0歳児の利用では1,700円、1歳児と2歳児の利用では1,400円を公費で負担する。公費内訳は、国が4分の3、県と市が8分の1ずつである。

◆観光産業常任委員会

観光産業常任委員会では7議案を審査し、うち議案第43号及び議案第44号は総務常任委員会及び民生教育常任委員会との連合審査を行い、議案第46号及び議案第47号については、総務常任委員会との連合審査を行いました。いずれも質疑なしで、原案可決となりました。

予算審査特別委員会 審査報告

令和8年度一般会計予算 487億5,000万円

日光市は、令和8年度の予算編成において、新たな総合計画のスタートの年であることから、計画に位置づけた事業に予算を重点配分するとともに、市民の皆さんの生活に直結する物価高騰対策にもしっかりと取り組むこととし、新たな総合計画の第一歩を踏み出すための予算としました。

一般会計予算は、前年度比3.6パーセント増の487億5,000万円、前年度比2.2パーセントの増となった特別会計や、企業会計を合わせた予算総額758億8,148万2千円が計上されました。

予算審査特別委員会では、令和8年度一般会計予算ほか予算関連10議案について5日間の日程で審査を行いました。審査では、一般会計、特別会計及び企業会計合わせて90件の活発な質疑が行われ、採決の結果、すべて原案のとおり可決し、3月24日の本会議に報告しました。

委員会での一般会計歳入及び歳出の主な質疑と答弁についてお知らせいたします。

◎一般会計歳入

【個人市民税及び法人市民税の見通しについて】

問…個人市民税及び法人市民税の見込について、詳細を伺う。

答…個人市民税は、栃木県の労働統計、米の売渡価格、年金の改定率などを踏まえ、令和7年度の決算見込み額を基に総合的に判断し、増額計上とした。法人市民税は、法人の申告内容や過去の実績の推移を基に、減額計上とした。法人市民税の申告内容を見ると、法人税割額が大きく減少した法人は、製造業や工事業が多い状況にある。これらから、賃上げなどにより個人所得は伸びているものの、人件費や原材料費の上昇が法人の負担になっているものと考えられる。

【地方交付税の見通しについて】

問…令和8年度の地方交付税は、国勢調査の結果の影響も考えられるが、どのように見込んだかを伺う。

答…地方交付税のうち、普通交付税の算出に当たっては、令和7年度の交付実績を基に日光市の独自経費を考慮しつつ、国が示す地方交付税の伸び率を参考にした。国勢調査の翌年度には調査結果の速報値を用いて算定されるが、人口が減る分、単位費用（単価）が上げられるため、過去の実績と同様の水準で交付されることが見込まれる。

◎一般会計歳出

●総務分科会

【シティプロモーション事業費について】

問…日光産品・サービスいちおし総合サイトの事業目的と具体的な事業内容について伺う。

答…第3次日光市総合計画の重点施策の魅力創出プロジェクトの一環として、総合サイトを立ち上げる。これまでと異なる新たな視点から情報を整理して発信することで、閲覧者の関心を高めて日光市とのつながりを深めていただくことを目的とする。宿泊施設の場合には、施設の成り立ちや歴史的背景、周辺スポットなどの情報を併せて紹介しストーリー仕立てにすることで、もっと知りたい、訪れてみたいと思わせるような紹介をしていく。そのためには質の高い情報や素材の収集が不可欠となるため、委託事業者と連携し、本年10月の運用開始を目途に取り組んでいく。

【消防団運営費について】

問…消防団統合事業費について、具体的な内容と消防団員への負担はどのようになると考えているか伺う。

【答】…統合に伴い、一体感と団結力を高めるため、団の象徴である団旗を新規購入する。現在使用している団旗は、各支団の支団旗として使用していく。また、統合後の消防団員への負担について、消防団の幹部と検討・協議しながら、業務の縮小等、負担を軽減するような取組を行っていく。

● 民生教育分科会

【塵芥処理費について】

【問】…ごみ減量化等推進基金積立金について、基金の使い道について伺う。

【答】…市の財政状況を鑑みて、令和6年度及び令和7年度は積立てを見送った。今後の使い道としては、高騰しているごみ処理費用や今後想定される大規模な施設改修や新設に充てる必要性を感じているが、現時点では具体的に決めていない。

【問】…家庭系可燃ごみ処理の有料化とごみ減量化等推進基金に関連はあるのか伺う。

【答】…ごみ減量化等推進基金は、ごみの減量化及び資源化の推進並びにごみの適正処理を目的とする事業の財源に充てるために積み立てているため、関連はある。

● 観光産業分科会

【物価高騰緊急経済対策費について】

【問】…プレミアム付き共通商品券発行事業費について、詳しい事業内容を伺う。

【答】…例年どおりの方法で、発行団体は日光商工会議所及び足尾町商工会である。10月中旬の販売を予定しており、使用期間は1月下旬までを見込む。購入方法は、インターネットもしくは専用はがきによる事前購入申込方式を採用し、申込者多数の場合は抽選となる。また、物価高騰対策であるため、令和8年度は5万組を発行し、申込者数の見込み等を加味して購入限度額を調整し、できる限り多くの方の希望に添えるような実施体制とする。

【林業振興費について】

【問】…捕獲個体減容化施設設置委託費について、1基あたりの設置費用と設置予定場所、また、県の施設を含めた令和8年度の施設数と、個体の処理数について伺う。

【答】…設置費用は税抜きで70万円を見込む。設置予定場所は、藤原地域の市有地を想定している。施設数は、県が設置した4基に加え、令和8年度に市が1基を設置することで、市内5基となる。処理個体数は、個体の大きさにもよるが、1基あたり年間約90頭を想定している。

令和7年度補正予算

予算審査特別委員会において、令和7年度（2025年度）日光市一般会計補正予算（第7号）について審議し、原案どおり可決しました。

一般会計補正予算(第7号)の概要

歳入歳出予算の総額それぞれ6億4,500万円を追加し、予算総額を496億1,600万円とするもの。

《主な事業》

○新型コロナウイルス感染症対応応援基金積立金（375,403千円）、○民間保育園等運営費（124,186千円）、○道路維持費（除排雪費）（194,452千円）、○小学校校舎等維持管理費（201,825千円）、○中学校校舎等維持管理費（119,182千円）、○脱炭素先行地域推進事業費 他（△623,823千円）

主な質疑と答弁

【脱炭素先行地域推進事業費】

【問】…脱炭素先行地域（奥日光地域）における、計画の進捗状況と課題について伺う。

【答】…高効率照明等の設備が進んだ一方で、温泉熱を利用した給湯機器設備の申請が1件に留まった。予算執行率は70～80パーセントを見込む。課題として、太陽光発電設備を載せる建物の屋根の耐震性などの物理的な面や費用の3分の1が自己負担という金銭的な面が挙げられる。



委員会活動報告



公共施設等あり方検討調査特別委員会



報告書提出の様子（正副委員長から正副議長へ）

各常任委員会



約2年間の調査結果をまとめ、3月24日に市長に提言しました。

議員定数等検討調査特別委員会



特別委員会の様子

総務常任委員会

当委員会は、2年間を通して所管事務調査事項である「防災・減災対策について」調査研究をしてきました。災害が発生した場合に、市民の命と財産を守り、その後の被害拡大を防ぎ、さらに社会経済を早期に再開させるためには、行政の迅速かつ的確な対応が求められることから、災害対応力の強化など防災・減災対策のさらなる取組が必要であると強く感じました。

当市は歴史的な文化財や豊かな自然環境を有する観光地であると同時に、山間部が多い地理的特性や気候条件により、土砂災害や洪水、地震などの災害リスクを抱えていることから、当市の地理的条件や人口構成を踏まえた上で、災害に強く、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指していくために、調査結果を踏まえ、次の5点について市長に提言することを求めた報告書を議長に提出しました。

- ① 避難場所の開設について
- ② 災害情報伝達手段について
- ③ 市民の防災意識の醸成について
- ④ 実効性のある受援計画の策定について
- ⑤ 災害井戸登録について

市民等の安心・安全の確保のために、防災・減災対策を計画的に進め、自助・共助・公助それぞれの上及び連携が図られることを切に願い、当委員会の活動報告といたします。

（川島憲朗副委員長）

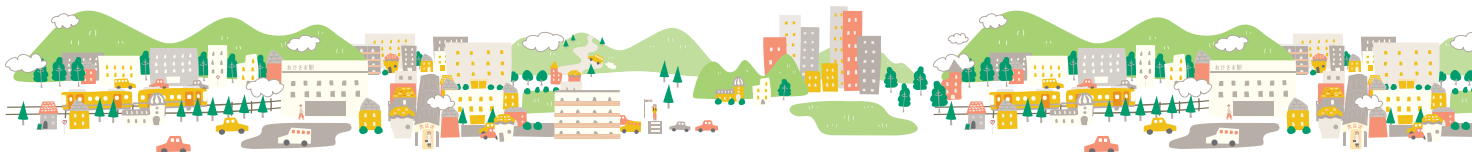
民生教育常任委員会

当委員会は、2年間にわたり調査・研究を行ってきた所管事務調査の報告書を議長に提出し、市長への提言を求めました。

通所型サービスについては：旧今市市で開始されたオアシス支援事業は全国の中でも先進事例であった。運営の移行による補助対象の変更により地域性のあるオアシス支援事業所によっては、課題が出ている。また、小学校区に1施設を目安としてきたオアシス支援事業所は、現在減少傾向にあるため、現在ある事業所が継続して運営できるように支援すること。各地域でも運営できるような支援策を検討すること。広域な当市においては、山間地域のみならず移動手段の少ない高齢者が多い。介護予防に関する移動支援・生活するための買い物に関する移動支援は必要であるため、民間事業者や各種団体と連携した新しい移動支援策を検討すること。

学校運営協議会について：構成メンバーの重要性や事業内容も踏まえ、市内他校がどのような学校運営協議会を運営しているか知る機会を創出すること。地域特性を生かすためにも学校が運営協議会をリードするのではなく、対等な立場で地域住民等の意見も柔軟に取り入れることができる学校運営協議会を目指すこと。

（斎藤久幸委員）



観光産業常任委員会

当委員会では、2年間にわたり、「まちづくりについて」の調査・研究を行ってまいりました。

調査の結果、令和7年度で閉館になる船村徹記念館周辺の今市中心市街地をはじめ、各地域の特徴を生かした賑わいのあるまちづくりの構想を進めていく必要があるのではないかと。また、ウォーカーブルなまちにするには、それぞれに回遊性を広げる仕掛けを作っていくことで、市民も観光客も歩けるまちに繋がっていくのではないかと考えました。

このようなことから、今後のまちづくりについて積極的な推進を図るため、次の2点について、市長に提言するよう議長に提出しました。

① 中心市街地については、まちづくりの推進に向け地域住民・事業者・行政の多様な主体が協働し将来像を共有して進め、社会実験を行うことで、他市にはない当市ならではのまちづくりが展開され、全国に発信できる先進事例となるよう研究していくこと。

② ウォーカーブルなまちづくりについては、コンセプトを明確にしながらか、歩きやすさと居心地の良い空間を構築すること。また、人が集い、自由に行動ができ、日常のかつ自然的な賑わいの創出に向け、地域住民・事業者を巻き込みながら調査研究に取り組むこと。

(生井一郎副委員長)

公共施設等あり方検討調査 特別委員会

当特別委員会では、日光市にとって最適な公共施設等のあり方について調査・研究・協議を行ってきました。

中央公民館に関しては、イオン今市店へ移転するにあたり、遮音性の問題や、そこで働く職員の健康面への配慮等について、市と協議をしました。

新文化会館に関しては、令和7年3月に、市から新文化会館の検討を凍結する旨の判断が示されました。文化会館の整備に関しては、市民一人ひとりの思いがあります。今後、整備するにせよ、整備しないにせよ、市には、日光市で生活をする市民に対して、前向きな判断理由や説明を望みます。

鬼怒川温泉駅前再整備に関しては、事業費が20億円となる大型事業です。今後、整備費や維持管理費等、市の財政負担が軽減されるような設計が求められます。

市には、公共施設の適正化に関して、市民の需要を見極め、事業の優先順位を共有し、財政の効率的な運用が図れるような公共施設のマネジメントを望みます。

公共施設を適正規模で維持していくことは、日光市が持続可能な財政基盤を確立するためには大変重要な取組です。今後も、市民生活の向上と安心安全を守るため、引き続き議会として調査・研究が行われることを望みます。

(田村耕作委員長)

議員定数等検討調査特別委員会

当特別委員会は、令和8年4月の議員改選を控え、「議員定数」と「議員報酬」のあり方を調査検討するため、令和7年9月定例会において設置されました。

本委員会の検討調査の結果、「議員定数は次回改選時より22人とする」、「議員報酬は現状維持とする」との結論に至り、議員定数については、昨年12月定例会において議員定数条例が一部改正されました。

検討調査の過程においては、「適正な議員定数、議員報酬等について、引き続き検討調査をする必要がある」との委員全員の共通の意向があり、本特別委員会の調査報告においても、その旨を附帯意見としました。

その後も、本特別委員会では、議員定数等の調査検討に関し、改選後の市議会への引継ぎ方などについて協議を重ねてきました。

協議の結果、議員定数、議員報酬を含めた「議会や議員のあり方」について、協議及び調整を行う場を恒常的に設けるべきとの結論に至りました。

これを受けて、日光市議会では、本年2月定例会での審議等を経て、「議会あり方委員会」を設置しました。

今後も、議員一人ひとりがよりよい議会体制づくりや、議員の資質向上に真剣に向き合い、「誰もが楽しく 健やかに暮らす 新しいまち」づくりにつながるよう、努めてまいります。

(田村耕作委員長)

令和8年1月に、東原中学校と今市中学校の3年生と議会報告会を実施いたしました。
 常任委員会を単位に7班に分けた各班が学校に伺い、「日光市の予算を使い、人口を増加させる取り組みを市に提案してください」をテーマに、生徒の皆さんがグループで話し合い、発表し、議員との意見交換を行いました。

今市中学校

開催日：令和8年1月23日（金）

日光市議会は、今市中学校において、中学3年生5クラスと意見交換を行いました。内容は、人口を増加させる取り組みで、公共交通の充実、子育て世帯への支援策など様々な意見をいただきました。議員も楽しく会話をしながら意見交換を行うことができ、お互いに実りのある意見交換会にすることができました。今後も、中学生世代との意見交換を行いながら、議員活動の幅を広げていきたいと思っております。
 （民生教育2班 山越享太郎班長）

●議会報告会で、日光市の人口を増加させるためにはどうすればいいのかを話し合い、市議会議員の皆さんに意見を伝えることができました。生徒が考えた意見を優しく真剣に聞いてくれて、議員の皆さんが日光市のために尽力なさっていることが伝わってきました。これを機に、自分なりに日光市の未来を考えることが大切だと思いました。

（3年1組S・Kさん）



●議会報告会を通じ、これからの日光市について深く考える良い機会となりました。意見交換の時間では、市の課題を踏まえた意見が多く出され、地域の未来を自分事として捉える大切さを実感しました。そして、将来も活気あふれる日光市を残すために、私たちに何ができるのか、考えていきたいと思っております。



●日光市の政治が意外と近いものだと思えることが出来ました。友達の意見を聞き、議員さんの考えをいただくことで日光市の人口を増やすための政策についてより深く考えられるようになりました。自分たちの意見が是非議会で採択されると良いなと思っております。本当に貴重な経験でした。これからも政治について深く考えていこうと思っております。

（3年3組Y・Hさん）



●私は今回初めて議員の方々に会い、私たち中学生の意見に真剣に向き合い、実現するにはどうしたら良いかアドバイスをくださり、とても嬉しかったです。私は議員さんの「次の時代を作っていくのは君たち中学生だ」という言葉が印象に残っています。今後高校、大学へ進むにつれて、県外に出る選択をする人もいますが、また戻ってきたくなくなるような日光市になってほしいと思いました。

（3年4組K・Mさん）



●議議会報告会を通して、日光市の人口を増やすには、交通量を増やすことやホテルやマンションなどの建物を整理すること、大きなショッピングモールを作ることなど、生活と観光の両方を考える必要があり、とても大変なのだと感じました。実現の難しさを含め、市の未来を考える良い学習になりました。今後も大切だと感じました。

（3年5組H・Eさん）

中学3年生
対象

議会報告会を実施しました

東原中学校

開催日：令和8年1月13日(火)

東原中学校の生徒の皆さんから人口増加に向けた多様で具体的な提案が示されました。特に、子育て支援の充実や市民が交流できる場の整備に関する意見が多く寄せられ、若い世代が地域の将来を真剣に考えている姿勢が強く印象に残りました。これらの率直な意見は、今後の市政運営において非常に有益であり、地域の魅力向上や移住・定住施策の強化、さらには財政状況を踏まえた効果的な事業展開の必要性を改めて認識する機会となりました。
(総務2班 嶋田正法班長)

●私は、今回の市議会報告会を通して、現在、日光市では人口減少が進んでいることがわかりました。また、私は人口減少の進行への対策を予算におさまるように考えました。難しいテーマでしたが、この機会で日光市の現状と取り組むべきことについて考えることができました。
(3年1組 手塚 禾帆さん)



●本日はお忙しい中、私たちと日光市をよくするための取り組みについて考えてくださりありがとうございました。私はこの生まれ育った日光市が一番好きなところなので、議員のみな様と明るい日光市をつくるための取り組みを考えることができ、とても楽しく、考えを深められる貴重な時間となりました。
(3年2組 齋藤 宏輝さん)



中学生との議会報告会 アンケート結果

令和7年度の議会報告会に参加いただいた今市中学校、東原中学校、藤原中学校、足尾中学校の中学3年生の皆さんにアンケートのご協力をいただきました。アンケート結果をお知らせいたします。

質問	区分	よかった	よくなかった	どちらともいえない
	1 意見交換のテーマは、いかがでしたか。	件数	202件	1件
2 「日光市」のことを考える機会になりましたか。	区分	なった	ならなかった	どちらともいえない
	件数	204件	2件	4件
3 「議会」や「議員」のことを知る機会になりましたか。	区分	なった	ならなかった	どちらともいえない
	件数	197件	3件	10件
4 「政治」に興味を持ちましたか。	区分	持った	持たなかった	どちらともいえない
	件数	140件	10件	60件
5 「選挙」に行ってみたいと思いましたか。	区分	思った	思わなかった	どちらともいえない
	件数	148件	14件	48件
6 「議員」になりたいと思いましたか。	区分	思った	思わなかった	どちらともいえない
	件数	33件	90件	87件

※アンケート回答数：210件

総務常任委員会

- ▶ 2月5日 付託議案審査
- ▶ 2月26日 付託議案審査
- ▶ 3月12日 委員会調査報告書(所管事務調査)について

民生教育常任委員会

- ▶ 2月5日 付託議案審査
- ▶ 2月9日 議会と協議したい重要案件「日光市学校施設マネジメント実行計画の策定について」
- ▶ 2月26日 付託議案審査
- ▶ 3月2日 付託議案審査
- ▶ 3月13日 委員会調査報告書(所管事務調査)について
- ▶ 3月24日 付託議案審査

観光産業常任委員会

- ▶ 2月5日 付託議案審査
- ▶ 2月26日 付託議案審査
- ▶ 3月16日 議会と協議したい重要案件「脱炭素先行地域の事業進捗について」ほか

議会運営委員会

- ▶ 1月13日 条例等の改正方式の変更について ほか
- ▶ 2月2日 令和8年2月臨時会について(会期日程等)ほか
- ▶ 2月9日 令和8年2月定例会について(会期日程等)
- ▶ 3月24日 令和8年2月定例会の日程追加について

議員全員協議会

- ▶ 1月13日 第3次日光市総合計画(基本構想・前期基本計画)の原案に係るパブリックコメントの結果及び原案の修正について ほか
- ▶ 2月2日 令和8年2月臨時会提出予定案件についてほか
- ▶ 2月9日 令和8年2月定例会提出予定案件についてほか
- ▶ 3月24日 令和8年2月定例会提出予定追加議案について
- ▶ 3月24日 第3期日光市まち・ひと・しごと創生総合戦

略の原案に係るパブリックコメントの結果について ほか

広報広聴委員会

- ▶ 1月13日 1月25日発行広報紙について ほか
- ▶ 3月10日 4月25日発行広報紙について ほか

公共施設等あり方検討調査特別委員会

- ▶ 2月24日 日光市鬼怒川温泉駅前再整備基本計画について
- ▶ 3月10日 公共施設等あり方検討調査特別委員会調査報告書について

議員定数等検討調査特別委員会

- ▶ 3月10日 今後の議員定数等の検討調査体制について ほか

行政調査特別委員会

- ▶ 3月24日 令和7年度行政視察の結果について

表紙の写真を募集しています!



日光市議会では、広報紙「市議会からこんにちは」の表紙写真を募集しています。日光市の素敵な場所、お気に入りのスポット、頑張っている人などを紹介してください。市内在住・在勤・在学の皆様からのご応募をお待ちしております。

次号(7月25日発行予定)の応募締切は5月31日です。

応募方法等詳しくは、日光市議会ホームページをご覧ください。議会事務局までお問い合わせください。



議会ホームページ▶

編集後記

新たな年度が始まりました。薄ピンクに染まった桜も散り、目にも鮮やかな新緑の季節に移行し、市民の皆様方も新しい生活がスタートしたところだと思えます。

新日光市として合併して20年が過ぎ、一体感の醸成も徐々に培われてきていると感じます。しかしながら、日本で3番目に広い市域を有する日光市にとって、物理的に遠い地域では、どうしても「わが地域」とは感じられない思いを抱いている方々がいることも事実です。ですが、合併した年に生まれたお子さんは、今年、21歳になります。生まれ時から日光市民です。彼らは、今の日光市をどう思っているのでしょうか。そして今後の日光市をどうしたいと考えているのでしょうか。私たち日光市議会は、毎年、日光明峰高校や市内の複数の中学校の生徒さんたちと意見交換会を実施しています。皆さんのフレッシュな感性が私たちに新しいアイデアや気づきを与えてくれます。そんな彼らが、何年か後の日光市をリードしていくものと確信しています。

人口減少は全国の自治体での共通課題ですが、解決には、やはり若い感性と「日光愛」がキーワードになるはずです。

若い彼らに大いに期待してエールを送ります。市議会も全力で取り組みます。みんなで日光市を盛り上げよう!

(広報広聴委員長 筒井 蔵)